



原子力の安全を追求する相互交流ネットワーク

NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室

TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665

NSnet News

No.11
February
2002

一般向けホームページ、一新!!

NSネットでは、一般の方々や会員に対してホームページを用いた原子力安全に関する情報交換・発信を行っています。この内、一般向けホームページ(日本語版、英語版)については、開設から2年を迎えることから評議員や会員の方々のご意見を参考に、全面的な改良に取り組んでいます。

日本語版

日本語版ホームページのトップページの改良に当っては、「より親しみ易く、分かり易く、かつ、使い易く」なるように改良しています。

- トップページをサイトマップ的デザインにし目的ページへワンクリックアクセス
- トップページに最新情報の件名を表示
- トップページにてNSネットの設立、役割、活動等を、キャラクターとアニメーションを使って紹介
- 各コーナー毎にタイトルやリンクボタンを分かり易く色分け(トピックス; 橙色、会員施設の紹介; 青色)

など、その他の改良を含め平成14年3月から運用を開始する予定です。



日本語版トップページ



お知らせです。
「第4回管理者セミナー」を3月6日(水)に東京で開催します。
技術者倫理に関する講演とピアレビューにおける良好事例の紹介を予定しています。

一般向けホームページに新しく登場するキャラクターです。



原子力Q&Aリンク集ページ

●NSネット各会員のホームページに掲載されている「なぜなぜコーナー」「よくわかる原子力講座」等の原子力に関するQ&Aを、テーマごとに分類し『原子力Q&Aリンク集』として掲載



会員施設の紹介ページ

英語版

英語版ホームページは、海外からのアクセスを第一に考え、デザインを重視して、以下のように改良しています。

- 海外のホームページに多く見られる画像やラインを多用したデザイン
- NSネットの活動をイメージさせる画像と大きく見やすいリンクボタンの採用
- 各コーナー毎にタイトルやリンクボタンを分易く色分け (Topics; 緑色, NSnet Activities; ワインカラー)

など、その他の改良を含め平成14年4月から運用を開始する予定です。



英語版トップページ



Topicsページ



NSnet Activitiesページ

相互評価(ピアレビュー)の実施状況

今回は、第18回核燃料サイクル開発機構東海事業所、第19回住友金属鉱山(株)エネルギー・環境事業部技術センターで行われたピアレビューの状況を紹介します。

評価の結果、両事業所とも原子力安全の面で直ちに改善措置を施さなければ重大な事故の発生に繋がるような項目は見出されませんでした。なお、ピアレビューの概要及び報告書の全文についてはNSネットのホームページに掲載していますのでご覧ください。

	第18回	第19回
実施日	平成13年11月13日～16日	平成13年12月11日～13日
事業所	核燃料サイクル開発機構 東海事業所	住友金属鉱山株式会社 エネルギー・環境事業部 技術センター
レビュー分野	組織・運営、緊急時対策、教育・訓練、運転・保守、放射線防護・化学管理、重大事故防止及び重要課題対応	組織・運営、緊急時対策、教育・訓練、運転・保守、放射線防護、重大事故防止
レビューチーム	中国電力(株)、三菱原子燃料(株)、(株)日立製作所、日本原燃(株)、関西電力(株)、NSネット事務局	電源開発(株)、日立造船(株)、日本原子力発電(株)、東京電力(株)、石川島播磨重工業(株)
レビュー結果	<p>東海事業所では、平成9(1997)年3月のアスファルト固化処理施設火災・爆発事故等を教訓として、原子力安全確保を継続・強化していくために真摯に取り組んでいる実態が確認されました。</p> <p>主な良好事例</p> <ul style="list-style-type: none"> リスクコミュニケーション研究班の設置による積極的な地域との情報交流 労働安全衛生マネジメントシステムをはじめとした国際認証取得への取組 運転要領書の整備と作成、改訂時の外部専門家も含めたチェック体制の充実 HAZOP等による現場感覚を重視した火災・爆発事故の未然防止活動 <p>主な改善提案</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故・トラブル時における見学者対応のためのガイドの作成 再処理施設の運転・保守に係る文書・手順書体系の更新 消火設備を記載した図面の通報設備付近への掲示 	<p>技術センターでは、「体制・責任の明確化とルールの遵守」を基本に安全への取り組みが自然にできる風土を目指した諸活動を展開するなど、原子力安全確保の強化に向けて真剣に取り組んでいる実態が確認されました。</p> <p>主な良好事例</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険のポイントや想定トラブル対応策を含む作業毎の「安全管理計画書」の作成 災害関連データベースの全社的運用 化学物質(薬品)のデータベース化による購入・保管等の管理の一元化 管理区域入域者を居室から確認できる自社開発の「入退域管理システム」の運用 <p>主な改善提案</p> <ul style="list-style-type: none"> 上位/下位規定間の関連づけによる規定類の位置づけの明確化 設備・機器点検時の不適合事項に対する"対処要領書"の制定 夜間・休日の火災発生を想定した警備員への防火教育の検討
		 <p>ピアレビュー報告書の提出 牧野理事長(写真左)より 核燃料サイクル開発機構 都甲理事長(写真右)へ</p>

安全キャラバンの実施状況

今回は、第29回から第31回の安全キャラバンについて紹介します。キャラバンの詳しい内容については、NSネットのホームページをご覧ください。

安全キャラバンで講演いただいた内容は、NSネットにて講演録としてどまとも会員に配布しております。

回	訪問日	訪問事業所	安全講演会講師	講演テーマ
29	平成13年 11月28日	北海道電力(株) 泊発電所	元 日本原子力発電(株) 最高顧問 板倉哲郎 氏	原子力安全の心構え
			(財)電力中央研究所 特別顧問 平岡 徹 氏	もんじゅ事故から見た安全とは
30	12月 7日	九州電力(株) 川内原子力発電所	(株)日立製作所 名誉顧問 荒井利治 氏	日立におけるもの作りの精神と 原子力安全文化
31	平成14年 1月23日	日本原子力発電(株) 敦賀発電所	核燃料サイクル開発機構 安全推進本部次長 石田順一郎 氏	サイクル機構における 安全推進の取組み



板倉哲郎 氏
(於 北海道電力(株)泊発電所)
「『原子力は潜在的には危険なものである』との認識をした上で、作業にあたる必要がある。発電所全体の安全は、作業員一人一人の安全な作業によって保たれている。原子力は人類のために必要であり、原子力に従事する者として自信を持って胸を張ってやっつけよう」



平岡 徹 氏
(於 北海道電力(株)泊発電所)
「安全審査や安全対策をやっている人間は、とすれば大きな事故を解析しておけば中・小規模の事故を包絡するという意識にとらわれがちだが、そうでない場合がある」



荒井利治 氏
(於 九州電力(株)川内原子力発電所)
「これからの原子力安全文化の維持・向上に求められるものとして、過去の事故の教訓や倫理教育の継続・伝承に対する企業トップの強い意志、企業内のみならず調達先・外部従事者への徹底、社外トラブル例の把握、社会との積極的な対話が重要である」



石田順一郎 氏
(於 日本原子力発電(株)敦賀発電所)
「安全管理は付随業務ではなく、本来業務であり、経営管理サイクルへ組み込み、業務の一環として展開しています。安全最優先の取り組みには『トップの姿勢』と『管理者(課長)の意識』が重要です。また、新入職員や新任職員が持っている職場に慣れる前の『感性』を大事にし、気づいたことはすぐ言ってもらおうにしています」



NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)
NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)は、東海村のウラン加工施設における臨界事故を教訓として、原子力の安全文化の共有化・向上を図るため設立された相互交流ネットワーク組織です。

NSnet News No.11 2002年2月発行

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室
TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665
インターネットでNSネットの詳しい活動内容をご紹介します。
<http://www.nsnnet.gr.jp>